

市の鳥



カワラヒワ

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111



▶誰よりも早く春を満喫
(上紙・深澤伸治さんのハウスで)

春を運ぶ スイートピー

市の名産品で「春の使者」ともいわれるスイートピーの出荷が始まっています。温室で栽培され、十二月初旬から四月中旬まで出荷されますが、今が最盛期。農家では、この期間は朝から晩まで仕事に大忙しです。ピンク、白、紫などのかわいらしいこの花は花屋での人気が高く、主に東京都内を中心に関東近県に出荷されています。今回は、春を運ぶ花「スイートピー」をご紹介します。

出荷最盛期を迎える

市内の栽培農家は六軒。栽培戸数はわずかですが、作付け面積は約一万平方メートル、年間約四百万本を出荷しています。

冬に晴天の続く地方の特産で、関東では当市や湘南地区の名産品となっています。晴れない日が三日以上続くと言われ、花が咲かなくなってしまう栽培が難しい花で、「太陽の申し子」とも呼ばれます。

この農家でも、表面の根を伸ばさないように床上げをしたり、良質の堆肥を作ったり工夫を凝らしています。



◀花の選別作業は夕方から夜にかけて一家総出で行う。子どもたちも花に囲まれうれしそう

税務署から

海老名市の管轄は「大和税務署」です。医療費控除などの還付申告は、申告期間以外(1月から)でも受け付けていますのでお早めに。また、税務署では次のような説明会を行います。

申告についての説明会

確定申告の一般的な注意事項や改正点などについての説明。なお、当日の申告受け付けはできません。

▷とき 2月2日(火)、午後2時~4時
▷ところ 海老名市役所4階401会議室

給与所得 還付申告の説明会

会社で年末調整をした方で、医療費控除及び住宅取得等特別控除の申告をされる方を対象に相談、受け付けを行います。控除を受けるための書類は必ずお持ちください。

▷とき 2月3日(水)~4日(木)、午前9時~午後4時
▷ところ 海老名市役所7階701会議室

納税証明書の請求は

3月に入りますと混雑のため、当日納税証明書の発行ができない場合がありますので、請求は2月中にお願いします。なお、確定申告をされた後、納税証明書を請求される方は、申告書と領収書を必ずお持ちください。

青色申告で節税を

青色申告は青色申告控除や専従者給与など多くの特典が与えられる制度です。事業所得や不動産所得のある方は、いまず青色申告を申請しましょう。

にせ税理士にご注意

納税者の依頼による税務代理、税務書類の作成、税務相談などの業務は、税理士法によって税理士の資格のない人ではできないことになっております。にせ税理士による不祥事があるようですのでご注意ください。

税理士会の無料相談

税理士が確定申告書の作成、相談を無料で次のとおり行います。ご利用ください。
▷とき 2月16日(火)~22日(月)、2月25日(木)~3月2日(火)の9日間、各日とも午前9時半~正午と午後1時~4時
▷ところ 海老名市役所7階706会議室

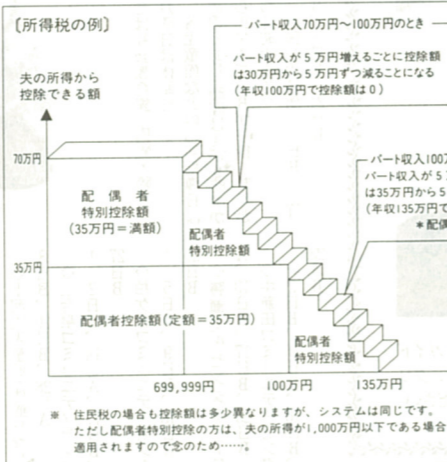
申告の準備は

パート収入が100万円では



税金の計算式
① 給与収入 - 給与所得控除 = 給与所得
② 給与所得 - 所得控除(基礎控除・ほか) = 課税標準額(課税の対象となる金額)
③ 課税標準額 × 税率 = 税額
A 所得税の場合
① 100万円 - 65万円 = 35万円
② 35万円 - 35万円(基礎控除) = 0
B 市・県民税の場合
① 100万円 - 65万円 = 35万円
② 35万円 - 31万円(基礎控除) = 4万円
※給与所得控除(収入金額が65万円以上161万9千円未満は一律65万円、65万円未満は収入金額と同額)

「私は、パートで働いていて収入がいくらか以上だと、所得税や市・県民税がかかります。収入がいくらか以上だと、所得税や市・県民税がかかります。収入がいくらか以上だと、所得税や市・県民税がかかります。」



本税として(人を含む)で、確定申告をされた方や、給与所得者で年末調整が済んでおり、勤務先から市役所へ給与支払報告書の提出がある方、及び公的年金等に係る所得のみの方は、原則として必要はありませんが、次の方は必要です。
①給与所得者で、二十万円以下の給与所得以外の所得がある方
②各所得金額の合計が、所得税の各種控除の合計より小さく、所得税がかかる方

できましたか



申告はなるべく2月中に(去年の申告受付会場)

次のいずれかに該当する方は、確定申告が必要です。
①給与の収入が千五百万円を超える方
②給与を二カ所以上から受けている方
③給与所得以外の所得の合計額が二十万円を超える方
④譲渡所得のある方
⑤サラリーマンなどの給与所得者の方

市・県民税の申告と所得税の確定申告や相談を次のとおり行いますのでご利用ください。
市役所 二階市民課にも用意しています。
大和税務署(大和市)
〒250-094

住宅ローンなどを利用し、住宅を購入したり増築改築などを行うと、入居の年から六年間住宅ローン(年末現行)の残高に比例した額(最高25万円)が所得控除から差し引かれる住宅取得等特別控除が受けられ、所得税が軽減されます。
給与所得者の方は、一年目に確定申告をすれば、以後は年末調整で控除が受けられます。

市役所受付会場 大和税務署案内図
事務室 上ホール 下ホール
大和税務署(仮庁舎)

市民相談室 市役所2階
電話による相談も受け付けています。法律相談、登記相談は予約制で相談日の一カ月前から予約ができます。
社会福祉協議会(☎35-0220)
高齢者の職業相談は、対象はおおむね65歳以上の方。

2月の相談
市役所 公民館
市民生活全般の相談や、市役所に関する要望があるときなどについて相談。
法律問題で弁護士に相談したいときや、消費生活全般にわたる相談したいときなどについて相談。
登記について知りたいとき、不動産に関する相談をしたいとき、近隣トラブル、借家関係などについて相談したいとき、見学や市などの仕事に意欲があるときなどについて相談したいとき。

フォトピックス

朝、市内杉久保の豊受大神で「親子マロン大会」が開催された。この大会は、親子のふれ合いと健康増進を目的に、有馬中学校区青少年健全育成連絡協議会杉久保支部が主催したもので、今年で十一回目。

コースは、豊受大神を出発し、椿地蔵、豊大前を経由し同大神に戻る約二時。宮司のおはらいの後、約二百人の親子が楽しく走り初めを行った。参加者からは、「親子でさわやかな汗をかきながら出来ました」との声が...



親子連れ200人が参加

さわやかな汗

杉久保で元日マロン
穏やかな晴天に恵まれた元日
中新田、今里のお年寄りら二十人が十二月十八日、中新田保育園(鈴木孝子園長、園児数五十二人)を訪れ二世代間交流が行われた。

園児と交流

お年寄りが保育園を訪問
中新田、今里のお年寄りら二十人が十二月十八日、中新田保育園(鈴木孝子園長、園児数五十二人)を訪れ二世代間交流が行われた。

バスケットで親善

韓国の中学生が来日

十二月二十六日、運動公園総合体育館で、韓国の中学生と海老名市内の中学生がバスケットボールを通して交流を深める一日親善バスケットボール大会が行われた。来日したのは、ソウル市内の弘益(ホンイク)大学校師範大付属中学校の選手十五人と教員ら計二十一人。同市のバスケットボール協会が、日韓中学生

の交流を求めていることを知った大谷中学校伊藤健三校長が去年八月、実行委員会を結成し、親睦と技術向上のため交流試合を実現した。当日、韓国選手たちは大谷中チームや市内中学の選抜チームと計三試合を行い、いずれも韓国チームが勝ったが、勝敗よりもゲームを通じて交流を深めた。



熱戦を展開する日韓両チーム



保育園での楽しいひととき...

250人が参加

市内8会場で民芸教室

十二月十四日から三日間、市内八カ所で「お正月のしめ飾りを作る」と児童民芸教室が開かれ、小学生約二百五十人が参加した。このしめ飾り作りは、子供たちにも古き良き伝統を伝えようと九年前から行われているもので、年末の行事としてすっかり



悪戦苦闘の子供たち

海老名むかしむかし

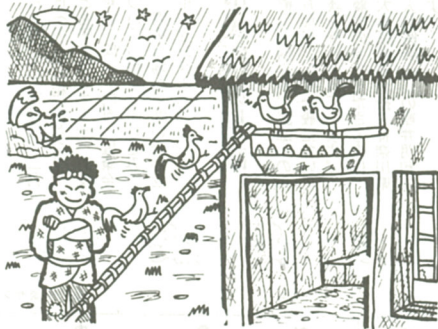
☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
1月9日~1月18日 第2回話 春を運んできた遊芸人
1月19日~2月3日 第3回話 狐に育てられた娘

海老名むかしむかし 第294話

地鶏のはなし

西年にちなんで地鶏の話であれこれ紹介したい。都会の小学生が遠足の折、赤い鶏を見て驚いたと作文に書いた話を聞いたが、地鶏が姿を消して久しい。養鶏所の白色レグホンしか知らない現代つ子には、茶褐色の鶏は珍しいのかも知れないが、一般農家では昭和三十年代まで大抵この地鶏を飼っていた。「地」というのはその土地」という意味で、地元の醸造酒を地酒というように、在来の日本種の鶏はどこでも地鶏と呼び、その卵を地玉と呼んだ。



この梯子を鳥梯と呼び、夜間は外して近くへ立てかけておいたので、表の入口を鳥梯口と呼んで裏口と区別したが、それが訛ってとんぼ口になった。

地玉の殻は淡紅色で堅く、黄身が大きくて栄養価が高いというので、よく空いた菓子折などに殻殻を詰め、その中に卵を並べて進物用にしたりが、病氣見舞いなどには特に喜ばれた。地鶏の産卵率は高くはないが、丈夫で何でもよく食べるし手が掛からないので、五、六羽飼っておけば自家用には事欠かなかった。福楽性が強いので眠る場所を決めておいてやると、放し飼いで放っておいても夕方になると必ずそのねぐらに戻った。

農家作りの古い家では、入口の高い所に止まり木をつけてここをねぐらとさせたが、日暮れになると、みんな玄關の軒裏にある高い止まり木に並んで眠ると、それぞれにはたばたと勝手に飛び下りた

が、夕方この高い所に上るのは大変なので、二本の長い竹を揃えて、蔓がからんだように縄で巻き上げた梯子子を掛けてやった。鶏たちは止まり木に斜めに掛けた梯子子の巻き縄を足掛かりにして、上手に釣り合いをとりながら止まり木まで上

アルミサッシの立派な玄關造りの家はかりになってしまったので、入口をとんぼ口などというのは年寄りだけかもしれない。止まり木のすぐ下に釣るような船のような頑丈な箱は、下を汚さないための覆いで、縄、乳洞の石筋のようによく積もっているのが下からもよく見えて、高い所なので乾燥が早く、嫌な臭いもしなかった。また、それが普通だったので、汚いとか衛生的でないとかは考えもしなかった。この乾燥鶏糞はナス、キヌワリ、カボチャなどの自家用野菜には良用肥料として出てくることもあった。これは、人目のつかない所へ産みためてひそかに二十日間温めていたので、子沢山の家庭が多かった頃、お祭りまり木を作り、糞受けまで設けなくてもよいだろうにも、と思う人も、いるだろうが、これは鶏に目覚まし時計の代わりを計ってもらったもので、玄關先で「コケコッコー」と鳴かれれば嫌でも目が覚める。時計のなかつた頃の農村では、晩を知らせる鶏の声は、朝早く起きて食事の支度をすする主婦ばかりでなく、生活のすべてにわたって大切な目安になっていた。豆腐屋は必ず一番鶏で起きて仕込みを始め

たものだった。鶏の天敵は狐とイタチだが、この玄關先の軒裏が一番安全な場所、鳥梯を外してしまえば絶対に被害は受けなかつた。この止まり木の近くや鶏小屋には、この家でもその頃の出来事だった。(小島 直司)